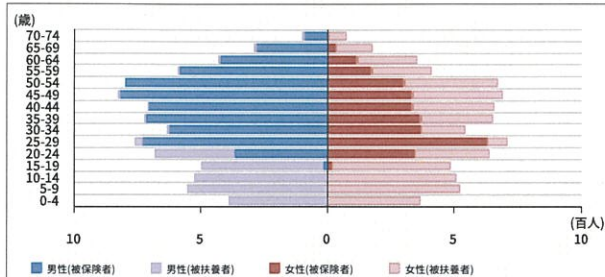


鈴与健康保険組合 サマリー (第2期 令和4年度)

STEP1 基本情報

組合コード	55336
組合名称	鈴与健康保険組合
形態	単一
業種	運輸業
被保険者数	9,350名
* 平均年齢は特例退職被保険者を除く	男性67% (平均年齢42.96歳) * 女性33% (平均年齢36.95歳) *
特例退職被保険者数	0名
加入者数	15,928名
適用事業所数	54カ所
対象となる拠点数	220カ所
保険料率 (調整を含む)	98‰



特定健康診査実施率	(全体) -%	(被保険者) -%	(被扶養者) -%
特定保健指導実施率	(全体) -%	(被保険者) -%	(被扶養者) -%

STEP2 健康課題の抽出

優先すべき課題

被扶養者の健康診断受診率が全健保組合と比較して低い。 カテゴリ: 健康状況	✓
特定保健指導の実施率が全健保組合と比較して低い。 カテゴリ: 健康状況	✓
内臓脂肪症候群の減少率が全健保組合と比較して低い。 カテゴリ: 健康状況	✓
特定保健指導対象から服薬に移行し一旦は対象者が減るが、新たに対象となる者が減らないことで減少率が全健保組合と比較して低い。 カテゴリ: 健康状況	✓
徳衛保健指導実施率からも判る様に、加入者のヘルスリテラシーが低く、保険事業に対する関心度も低い。この為か、保険給付費の増加が著しく、健保財政逼迫の最大要因となっている。 カテゴリ: 健康状況	✓
メンタル疾患が多く、事業所では生産性の低下、健保では傷病手当金の増加となっている。 カテゴリ: 医療費・患者数, 生産性	

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
・健康診断未受診者への受診勧奨により、被扶養者の実施率を上げ、全体の健康診断実施率を上げる。又、特定保健指導に関しては、事業所とのコラボに依る受診勧奨を行い実施率の大幅増を図り、将来的な重症化予防を促進する。
事業全体の目標
・健康診断実施率は被保険者100%、被扶養者60%、全体で93%以上とする。 ・特定保健指導実施率は、被保険者50%、被扶養者30%、全体で40%以上とする。
職場環境の整備
1 事業所診断
2 禁煙活動
加入者への意識づけ
1 受診勧奨
3 ICTツールの活用
4 機関紙 (すこやかファミリー) 発行
5 家庭用常備薬の斡旋
個別の事業
1 特定健診 (被保険者)
2 特定健診 (被扶養者)
3 特定保健指導
4 重症化予防
5 メンタルヘルスカウンセリング (こころの相談室)
6 生活習慣病健診
7 婦人科検診
8 インフルエンザ予防接種補助
9 ウォーキング大会
10 母子保健指導
11 セカンドライフセミナー
12 契約保養所宿泊補助
13 スポーツ施設利用補助